

科目名	開講時期	必修・選択	科目区分	単位（時間）	科目責任者
公衆衛生看護学方法論Ⅴ （健康教育演習）	3年次 後期	必修	演習	1単位（30時間）	池田 由貴※
授 業 概 要					
小集団に対する健康教育を通して健康教育の一連の過程と教育技法を体験的に学ぶ。					
到 達 目 標					
健康教育の基本的な考え方と展開技術の理解をふまえて、健康教育の一連の過程を実施する。					
実務経験のある教員					
池田 由貴・佐藤 美恵子・原澤 由美子・篠田 浩子・三宅 久枝： 行政での現場経験を踏まえ、健康教育の一連の過程について演習を行う。					
回	学 習 内 容				担当教員
1-15	1. 健康教室の計画の立案 1) 情報収集 2) 分析とアセスメント 3) 計画立案（企画書、シナリオの作成） 4) 教育媒体の作成 5) デモンストレーション 2. 実施 3. 評価				池田 由貴 ※ 佐藤 美恵子 ※ 原澤 由美子 ※ 篠田 浩子 ※ 三宅 久枝 ※
学 習 方 法					
・グループ演習 ・グループワークの前提として個々の事前学習が必要である。					
評 価 方 法					
事前学習、演習の取り組み、健康教育実施時の姿勢・態度、レポート等を踏まえた「演習評価表」を用いて評価する。（具体的な評価項目は初回講義時に提示する）					
先 修 科 目					
なし					
教科書、参考書					
〔教科書〕 公衆衛生看護学.jp 荒賀直子 インターメディカル					